

この度は原稿執筆をご快諾いただきありがとうございました。以下の「書き方」に沿ってご執筆くださいますようお願い申し上げます。

依頼原稿の書き方

1. 原稿の構成

ワープロ用原稿用紙を使用し、原稿用紙の右欄外に図表の挿入位置を指定して下さい。図、表などはそのまま写真製版が可能なものをご提出下さい。

2. 著者

著者の数は原則的に4名以下として下さい。

3. 表題

日本語表題およびそれに対応する英文表題を付けてください。

4. キーワード

記事には5～10語の英語によるキーワードを付けてください。固有名詞を除き、すべて小文字とします。具体的な意味を持つ名詞形で、できるだけ狭義の意味を持つ語句を選んでください。また、原則的にフルスペリング表記をお願いいたします。ただし、広く一般的に知られているものについてのみ、省略形での表記ができるものとします。

キーワードは原稿用紙に添付してあります「原稿表紙(2)の見本」のように、原稿表紙(2)の最終行に記載して下さい。

5. 本文

5.1 区分けと見出し

本文の区分けは、章、節、項をそれぞれ 1. 2. 3..., 1.1 1.2 1.3..., 1.1.1 1.1.2 1.1.3 ... で表わして下さい。

5.2 用字と用語

本文は日本語で書いて下さい。文体は簡潔な口語体とし、特に欧文またはカタカナ書きを必要とする部分以外は、漢字まじりひらがな書きとして下さい。また、漢字は常用漢字を、かなは現代かな遣いを使用して下さい。句点(。), 読点(、), かっこ, ハイフンなども1文字と数えます。段落のはじめは1文字あけてください。

術語は文部省制定の学術用語集に準拠することを原則としますが、用語集に記載されていない用語についてはJISなどに準拠して下さい。外国語の人名、固有名詞などは原語のつづりで書くことを原則とします。ただし周知のものはカタカナ書きでもかまいません。固有名詞を除いて、

外国語のつづりを文中に混用することはなるべく避けて下さい。半角カタカナは使わないでください。

あまり一般的ではない専門用語の頭文字を用いた省略形については、初出の箇所で以下の例のようにフルスペリングを併記してください。

例：STM (Scanning Tunneling Microscope, 走査型トンネル顕微鏡)

例：走査型トンネル顕微鏡 (STM, Scanning Tunneling Microscope)

一つの内文での記述法はどちらかに統一してください。

5.3 商品名および会社名の使用禁止

商品名および会社名は下記の場合をのぞいて使用できません。

注) 使用可能な例 チムケン(Timken)OK 荷重, ファレックス試験機,

5.4 字体

特に必要な場合に限り字体を指定することができます。アルファベット c, k, o, p, s, v, w, x, y, z の大文字と小文字, また γ と r, ω と w, κ と k などのギリシャ文字と英字は、はっきりと区別して書いて下さい。

5.5 単位, 記号など

単位, 単位記号および量記号は原則として SI を用いてください (例えば JIS Z 8202 参照)。

6. 数式

変数や記号などは 1 ますに 2 字を記入してもよいですが、必要と思われる行数は必ず使用し、詰めて書くことは避けてください。

文章中に数式などを入れる場合には $(a+b)/(c+d)$, $\exp(t/r)$ のようになるべく 1 行に収まる記法を用いてください。

数式に付ける番号は通し番号とし、行末に () に入れて書いて下さい。文中で数式を呼称する場合には式 (1), 式 (2) のようにして下さい。印刷に便利のように注意し、長い数式などは希望する組版の通りに書いて下さい。

7. 図と表

すべての図, 図を含む表および複雑な表は原則として著者が作成したものをそのまま写真製版により印刷しますので、線の太さ, 文字の大きさなどに注意して黒インクで作成して下さい。図および表中の文字の大きさは、縮小した時に小さすぎて判読不能にならないようにして下さい。文字, 数字, 記号などはレタリングガイドを使用するか, ワープロなどで印字したものを貼り込んで下さい。

図 (写真を含む) および表の番号, 題目および図表中の文字は英語, または日本語とします。同一原稿内では表記は英語または日本語で統一して下さい。ただし, 引用された図表中の文字は原著のままとして下さい。図面は, 原則として JIS Z 8310 (製図総則) によって作図して下さい。

他の著作物を引用する場合は著作権法に従って下さい。

7.1 図番，表番，図名，表名

(英語の場合)

図および表の番号はそれぞれ通し番号を用い，Fig.1，Fig.2，...，Table 1，Table 2，...，として下さい。また図番，図名は図の下部に，表番，表名は表の上部に書いて下さい。

例) Fig. 1 Flowchart of numerical process used in this calculation

Table 4 Dynamic and static characteristics of journal bearings

(日本語の場合)

図および表の番号はそれぞれ通し番号を用い，図 1，図 2，...，表 1，表 2，...，として下さい。また図番，図名は図の下部に，表番，表名は表の上部に書いて下さい。

例) 図 1 数値計算のフローチャート

表 4 ジャーナル軸受の動的・静的特性

7.2 縦軸，横軸の説明

グラフの縦軸，横軸の説明はそれぞれの軸に沿って横書きとし，コンマで区切って単位をその後につけて下さい。縦軸，横軸の説明は原則として最初の文字のみ大文字とします。

(英語の場合)

例) Coefficient of friction

Sliding velocity V ，m/s

(日本語の場合)

例) 摩擦係数

すべり速度 V ，m/s

いずれの場合も引用の場合は原著のままとして下さい。

7.3 写真

写真は必ず鮮明なもの(原則としてモノクロ)を 1 葉提出して下さい。倍率は写真中に比較尺度で示して下さい。

7.4 図表の引用

図表を引用する場合，自著，他著を問わずその都度下記のように出典を明記して下さい。

(英語の場合)

例) Fig. 3 Effect of temperature, pressure and sliding velocity [出典：文献 5]

Table 8 Mechanical properties of test specimens [出典：文献 8]

(日本語の場合)

例) 図 3 温度，圧力，すべり速度の影響 [出典：文献 5]

表 8 試験片の機械的特性 [出典：文献 8]

8. 文献

参考とする文献は，上付の添字で¹⁾または^{2, 3, 5-7)}のように示し，文献リストを「文献」として本文の末尾に挙げて下さい．文献の番号は参考文献 1 報につき 1 つの番号を割り当て，原稿内で通し番号にして下さい．なお，一般に公表されないもの（読者が入手不可能なもの）は参考文献としては挙げられません．例えば，投稿予定および投稿中で未公表の論文を参考にすることはできません（校閲が完了し掲載が決定したものは可能です）．インターネットの URL は，変更・消去されて参照できなくなる恐れがあるため，原則として単独では引用しないでください．もし URL を使用される場合には，下記 8.8 の例に示したように単独ではなく印刷物の引用に併記して下さい．

文献の書き方は次の形式に統一して下さい．

8.1 雑誌の場合

番号) 著者名：タイトル，雑誌名，巻，号（発行年）ページ．

1) A. B. Collin & D. E. Fake : In Situ Studies of Wear Process, ASME J. Tribology, 120, 3 (1995) 513.

8.2 書籍の場合

番号) 著者名：書名，発行所（発行年）ページ．

2) 会田・今井：トライボロジーにおける実験計画法 第 2 版，摺栄社(1950) 703.

または番号) 著者名：タイトル，書名，編者，発行所（発行年）ページ．

3) D. Tabor : Friction as a Dissipative Process, Fundamentals of Friction: Macroscopic and Microscopic Processes, ed. I. L. Singer & H. M., Pollock, Academic Publishers(1992) 3.

8.3 Proceedings の場合

番号) 著者名：タイトル，会議の名称，場所，時期，巻（発行年）ページ

4) M. Akita : Investigation of the Degradation of Solid Lubricants Exposed to Atomic Oxygen , Proc. Int. Trib. Conf., Yokohama 1995, 1 (1996) 235.

8.4 特許の場合

番号) 発明者名：特許番号など（発行年）

5) 高橋一二三：潤滑機構，特開平 6-12345678(1994)

6) A. C. Smith : Lubrication Mechanism, U.S. Patent 9876543 (1990).

8.5 カタログ等の場合

番号) カタログ名・カタログ番号，社名（発行年）

7) トライボ工業カタログ 045-94951, トライボ工業（1994）

8.6 規格の場合

番号) 規格番号（発行年）

8) 日本工業規格 JIS B 2405 (1993)

8.7 雑誌名の記載例

トライボロジスト	J. Phys. Chem .
機論	Jpn. J. Appl. Phys.

精密工学会誌	Nature
日本化学会誌	Philos. Mag.
表面	Phys. Fluids
Appl. Phys. Lett.	Phys. Rev. Lett.
ASME J. Tribology	SAE Paper
Bull. JSME	Science
IEEE Trans.Magn.	Solid State Phys.
J.Appl.Phys.	STLE Tribology Trans.
J.Chem.Phys.	Surf. Sci.
J. Eng. Tribology	Thin. Solid Films
J. Fluid Mech.	Tribology Int.
J. Mater. Sci .	Wear

8.8 インターネット URL

原則として単独引用は避け，印刷物を参考文献に挙げ，URL は併記して下さい

2) 潤滑 太郎：みがき職人の世界，すべり速報，10 (2007) 13

(http://www.jyunkatsu.com/vol07_10/p13.htm)